
成績評価の客観的な指標

成績評価の客観的な指標を以下の通り定め、指標順位が下位の学生に対する指導の指針を定める。

1. 成績評価基準

本校で開講される科目の成績評価については、2019年度以降の入学者を対象とするカリキュラムが適用される学生から、以下のように取扱う。

成績表は、科目ごと4段階評価（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表わす。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和を成績評価指標とする。

成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。

評語の種類と意味および素点・ポイントとの関連

評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0

$$\text{成績評価指数} = (4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数}) \div \text{科目数}$$

成績評価基準は学習成果を総合的に判断できる指標を提供し、学習意欲の向上や学習計画などの自己管理に資することを目的とする。

ただし、「特待生継続選考」および「高等教育無償化制度の支援対象者打切り要件」などに利用される場合がある。

2. 下位学生に対する指導について

上記の成績評価指標数を期毎に算出し、所定の順位を下回った者には本人及び保護者に警告を発する。また、前の期の警告を受けた者が、次期も所定の順位を下回った場合は、相応の措置を講ずる場合がある。